形態機能医科学講座 生理学

1. 領域構成教職員 · 在職期間

* . Inc. he lilitan abrildence	-	*******	
教授	松岡	達	平成25年9月- 令和7年 3月
准教授	竹内	綾子	平成25年9月-(-平成29 年4月-現職) -令和7年 3月
講師	清水	啓史	令和元年5月-
助教	竹田	有加里	平成29年8月-

2. 研究概要

研究概要

- 研究概要
 当領域では、生理学実験(ウェット)と数理モデルによるin silico解析(ドライ)を統合した独創的なアプローチ、「システム生理学」を推し進め、分子・オルガネ
 ラ・細胞・臓器・個体レベルの多階層にわたる研究を行うことで生体機能の統合的解明を目指している。主たる研究テーマを以下に挙げる。
 1. 固有心筋である心房筋・心室筋細胞の興奮・収縮連関、および特殊心筋であるベースメーカー細胞(洞房結節細胞)の自動能発生のメカニズムを明らかにするため
 に、単離心房筋・心室筋・ベースメーカー細胞や、拍動培養心筋細胞川-1を用いて、細胞内小器官・ 細胞質イオンダイナミクスのイメージング実験と電気生理学実
 験を行っている。さらに、 "数理モデル解析による作業仮説の提示と実験的検証"の反復によって、心臓を構成する様々な細胞の生理機能発現における個々の要素の 寄与を定量的に明らかにするとともに、これらの要素の機能異常によって惹き起こされる細胞機能の破綻メカニズムを解析している。
 2. 脳のミトコンドリアCaダイナミクスの機序とその役割について解析している。
 3. イオンチャネル蛋白質の1分子ダイナミクスを計測し機能制御機構の動的解明を目指す研究をしている。

システム生理学 ミトコンドリア 心臓生理学 1分子動態計測

本傷中心進度化成 ヒト心室筋細胞統合モデルを用いた、運動時におけるミトコンドリアCa^{**}動態の役割について、国際学会で発表した(竹内、松岡,2024 Cardiac Physiome Workshop)。心筋細胞内の脂肪蓄積と不整脈の関連について学会発表した(竹田;APPW)溶液置換システムを用いた動態観測データを国際学会(米国生物物理学会 2025)で発表した。

特色等 生理学実験(ウェット)と数理モデルによるin silico解析(ドライ)を統合した独創的なアプローチ「システム生理学」を推し進めている。

本学の理念との関係

先端的な医学研究を行うことで、「世界的水準の研究」を目指す本学の理念に貢献している。

3. 研究実績

区分		編	編数		インパクトファクター(うち原著のみ)	
		2018~2023年分	2024年分	2018~2023年分	2024年分	
和文原著論文		0	0	_	_	
	ファーストオーサー	6	1	32.448(23.022)	4.7(4.7)	
英文論文	コレスポンテ゛ィンク゛オーサー	6	1	30.255(20.829)	4.7(4.7)	
大人叫人	その他	2	0	5.039(2.781)	0(0)	
	合計	9	1	40.29(28.607)	4.7(4.7)	

- (A) 著書·論文等 (1) 英文:著書等

 - b. 著書 (分担執筆)
 - c. 編集·編集·監修
- (2) 英文: 論文等 a. 原著論文(審查有)
 - Takeuchi A, Matsuoka S.: A simulation study on the role of mitochondria-sarcoplasmic reticulum Ca2+ interaction in cardiomyocyte energetics during exercise, The Journal of Physiology, 603(18), 4921-4949, 202509, DOI: 10.1113/JP286054, #4.7 2417001
 - b. 原著論文 (審査無)
- c. 原著論文(総説)
- d. その他研究等実績(報告書を含む)

Yusuke Asagoe, Yoshikazu Hirai, Hirofumi Shimizu: Twisting motion of a single-KcsA channel in response to sequential chemical stimuli, Biophysical Journal, 124(3), 129a-130a, 20250213, DOI: 10.1016/j.bpj.2024.11.731, #3.2 2417002

Yusuke Asagoe, Hirofumi Shimizu, Yoshikazu Hirai: Diffracted X-Ray Tracking Method for Analyzing the Sequential Dynamic Motion of Ion Channels in Response to a Chemical Stimulus, The 28th International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and 2417003 Life Sciences (MicroTAS 2024), 20241024

Yusuke Asagoe, Hirofumi Shimizu, Yoshikazu Hirai: Microfluidic Device for Diffracted X-ray Tracking Method to Measure the Conformational Change of Ion Channel in Response to Chemical Stimuli, The 19th IEEE International Conference on Nano/Micro Engineered and Molecular Systems (IEEE-NEMS 2024), Kyoto, JAPAN (May, 2024), 20240502, DOI: 10.1109/NEMS60219.2024.10639840 2417004

(3) 和文:著書等 a. 著書

- b. 著書 (分担執筆)
- c. 編集·編集·監修
- (4) 和文: 論文等 a. 原著論文(審查有)
 - b. 原著論文 (審査無)
 - 经影

松岡 達: 心筋細胞におけるミトコンドリアー筋小胞体Ca2+連関、循環制御、45(1)、10-11、20240630、DOI: 10.11312/ccm.45.10 2417005

d. その他研究等実績(報告書を含む)

- e. 国際会議論文
- (1) 国際学会
- a. 招待 特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- Takeuchi A, Matsuoka S: Theoretical analyses of the roles of mitochondrial Ca2+ dynamics during exercise using an integrated model of human ventricular myocyte, 2024 Cardiac Physiome Workshop, フライブルグ, 20240912 2417006
- Yusuke Asagoe, Hirofumi Shimizu, Yoshikazu Hirai: Microfluidic Device for Diffracted X-ray Tracking Method to Measure the Conformational Change of Ion Channel in Response to chemical stimuli, The 19th IEEE International Conference on Nano/Micro Engineered and Molecular Systems, Kyoto, 20250502 2417007
- d. 一般講演 (ポスター)
- e. 一般講演
- f. その他
- (2) 国内学会 (全国レベル) a. 招待・特別講演等

- b. シンポジスト・パネリスト等
 2417008 竹内綾子、松岡達: ミトコンドリアCa2+輸送体の局在一心筋細胞機能連関に関するフィジオーム研究,第18回トランスポーター研究会,静岡市、20240601
- Satoshi Matsuoka: Physiology of cardiac conduction system, 第130回日本解剖学会·第102回日本生理学会·第98回日本薬理学会合同大 2417009 会, 千葉市, 20250318
- 一般講演 (口演)
- 2417010 ・ 竹内綾子、松岡達: 仕事量増大時の心エネルギー代謝における ミトコンドリア-筋小胞体Ca2+連関の役割, 生理研研究会, 福岡市, 20241010
- 一般講演(ポスター)
- Himenoy, Takeuchi A, Toyoda F, Zhang Y, Muangkram Y, Noma A, Amano A: Enhanced ATP consumption during tetanic contraction and homeostatic mechanisms of the cellular energy metabolism in ventricular myocytes: A simulation study, 第130回日本解剖学会・第102回日本生理学会・第98回日本薬理学会合同大会,千葉市,20250319 2417011
- Takeuchi A, Matsuoka S: Role of mitochondria-sarcoplasmic reticulum Ca2+ coupling in cardiac energy metabolism during exercise, 第130回日本解剖学会·第102回日本生理学会·第98回日本薬理学会合同大会,千葉市,20250317 2417012
- Yukari Takeda, Nishat Akter, Sato Satsuki, Jinya Suzuki, Norio Harada, Satoshi Matsuoka. : Electrophysiological and Ca2+ handling properties of atrial myocytes derived from a mouse model of myocardial steatosis., 第130回日本解剖学会・第102回日本生理学会・第98回日本薬理学会合同大会,千葉市,20250318 2417013
- 浅越雄介、平井義和、清水啓史: 流体デバイス応用 1 分子計測法によるKcsAカリウムチャネルのpH応答ねじれ運動の解析、化学とマイクロ・ナノシステム学会第51回研究会、大阪、20240516 2417014
- e. 一般講演
- f. その他
- (3) 国内学会(地方レベル) a. 招待・特別講演等

 - b. シンポジスト・パネリスト等
 - 一般護蒲 (口蒲)
 - 2417015
 - 野間昭典、姫野友紀子、豊田太、Zhang Yixin、竹内綾子、天野晃: 心筋細胞連続EAD発射によるエネルギー代謝破綻のコンピュータシミュレーション解析2、近畿生理学談話会、枚方市、20241123 2417016
 - Nishat Akter, Yukari Takeda, Satsuki Sato, Jinya Suzuki, Norio Harada, and Satoshi Matsuoka: Augmented transient outward K+current and sarcoplasmic reticulum Ca2+ overload are associated with atrial fibrillation susceptibility in a mouse model of myocardial steatosis., 第71回 中部日本生理学会,岡崎市,20241129 2417017
 - d. 一般講演 (ポスター)
 - e. 一般講演
 - f. その他
- (4) その他の研究会・集会 a. 招待・特別講演等

 - b. シンポジスト・パネリスト等
 - c. 一般講演(口演)
 - d. 一般講演 (ポスター)
 - e. 一般講演
 - f. その他
- (C) 特許等 区分
 - 内容(発明の名称) 発明者又は考案者
- (D) その他業績
- 4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

横助金 関の恒常性と破綻の統合的原明 大線1分子動態計測によった。	区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額(配分額)
一部科学名科学研究費 基盤研究 (B) 小川 治夫・平井 義和 20240401-20250331 ¥5,460,00 関の恒常性と破綻の統 清水 啓史 小川 治夫・平井 義和 20240401-20260331 ¥5,460,00 初の何常性と破綻の統 清水 啓史 小川 治夫・平井 義和 20240401-20260331 ¥5,460,00 不 表盤研究 (C) 浸透面質マルチセンシング機構の動的解明 竹田 有加里 佐藤 さつき 20230401-20260331 ¥1,560,00 アー防小原体 一細原度 遠極過程の全容を解 明する手法の確立 一 竹内 綾子 後継研究 (C) 表盤研究 (C) 浸透面質マルチセンシンが提供の動物解明 竹内 表面研究 (C) 表面研究 (C) 表面研究 (C) 月末 下 表面研究 (C) 下 表面研究 (C) 月末 下 表面研究 (C) 下 表面研究 (C) 月末 下 表面研究 (C) 下 表面研究 (C) 日本 下 表面 表面 表面 表面 表面 表面 表面	マム	ロウ 番目	押 類 夕	/ / 上 主 老 夕	○□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		全類 (副公類)
# 前助金	文部科学省科学研究費		心臓の代謝・自動能連 関の恒常性と破綻の統		竹田 有加里,長谷川		¥5, 460, 000
補助金	補助金		X線1分子動態計測によ る膜蛋白質マルチセン			20240401-20260331	¥5, 460, 000
補助金		基盤研究(C)	アー筋小胞体ー細胞膜 Ca連関異常が洞不全を	竹田 有加里	佐藤 さつき	20230401-20260331	¥1, 560, 000
文部科学省科学研究費 基盤研究 (C)		挑戦的研究(開拓)	蛋白質の立体構造にタ イムスタンプを付し構 造遷移過程の全容を解	清水 啓史		20220401-20250331	¥7, 800, 000
様助金 態を起点とした神経細胞機能制御の分子機序 文部科学省科学研究費 基盤研究(B) X線1分子動態計測による膜蛋白質マルチセンシング機構の動的解明 大久460,00 本の部科学省科学研究費 挑戦的研究 (開拓) 蛋白質の立体構造にタイムスタンプを付し構造過程の全容を解明する手法の確立 大部科学省科学研究費 基盤研究(C) 洞房結節ミトコンドリア・筋小胞体 - 細胞膜に 本部科学省科学研究費 基盤研究(C) 洞房結節ミトコンドリア・筋小胞体 - 細胞膜に 本部科学省科学研究費 基盤研究(C) 洞房結節ミトコンドリア・筋小胞体 - 細胞膜に 本部・地域に 本語・地域に 本語・		基盤研究(C)	ミトコンドリアCa2+動態を起点とした神経細胞機能制御の分子機序	竹内 綾子		20220401-20260331	¥1, 170, 000
補助金 お膜蛋白質マルチセン シング機構の動的解明 全白質の立体構造にタ 清水 啓史 平井 義和, 高崎 寛子, 全20220401-20250331 ¥7,800,00 20240401-20250331 ¥7,800,00 ※ 卓生 平井 義和, 高崎 寛子, 全生 平井 義和, 高崎 寛子, 全生 東京 中生 東京 中土 中土 東京 中生 東京 中生 東京 中生		基盤研究(C)	態を起点とした神経細 胞機能制御の分子機序	竹内 綾子		20220401-20260331	¥1, 170, 000
文部科学省科学研究費 挑戦的研究 (開拓) 蛋白質の立体構造にタイムスタンプを付し構造圏を存在を解します。 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		基盤研究(B)	る膜蛋白質マルチセン	清水 啓史	小川 治夫,平井 義和	20240401-20260331	¥5, 460, 000
補助金 アー筋小胞体ー細胞膜 Ga連関異常が調不全を 誘発する機序の解明 ウ酸の代謝・自動能連 耐助金 基盤研究(B) 心臓の代謝・自動能連 関の恒常性と破綻の統 合的解明 な岡 達 東惠		挑戦的研究(開拓)	蛋白質の立体構造にタ イムスタンプを付し構 造遷移過程の全容を解	清水 啓史		20220401-20250331	¥7, 800, 000
補助金 関の恒常性と破綻の統合的解明	補助金		洞房結節ミトコンドリアー筋小胞体ー細胞膜 Ca連関異常が洞不全を 誘発する機序の解明				¥1, 560, 000
マハ 地間々 細胞な エエカギの エエカ・イン エアカ 出間 まれん かな		基盤研究(B)	関の恒常性と破綻の統	松岡達		20240401-20250331	¥5, 460, 000
	区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額	1

契約金額

	区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間
(R)	经学客附金				
(0)	妥 7 	0	T		
	文八针叙	U	ļ		
	受入金額	¥0			

5. その他の研究関連活動

 (A)
 学会開催等

 区分
 主催・共催の別
 学会名
 開催日
 開催地

(B) 学会の実績 学会の名称 The Physiological Society 松岡 達 一般会員 -般会員 松岡 達 American Allier I can Physiological 日本生理学会 日本生理学会 米国生物物理学会 国際交流委員会委員 評議員 一般会員 評議員 一般会員
 松岡
 達

 松岡
 達

 松岡
 達

 竹内
 綾子

 竹内
 綾子
 末国生物物理子云 日本生理学会 Society of General Physiologist 日本生理学会 日本生理学会認定「生 竹内 綾子 日本薬学会 Biophysical Society 日本生物物理学会 米国生物物理学会 日本生理学会 日本生理学会
 竹内
 綾子

 竹内
 綾子

 清水
 啓史
 清水 啓史 清水 啓史 清水 啓史 Biophysical Society 日本生理学会 日本糖尿病学会 American Diabetes
 竹田
 有加里

 竹田
 有加里

 竹田
 有加里

 竹田
 有加里
 Association 一般会員 監事 一般会員 理事 評議員 ASSOCIATION 日本神経科学会 日本自律神経学会 歯科基礎医学会 日本病態生理学会 日本航空宇宙環境医学 安部 力
 安部
 力

 安部
 力

 安部
 力

 安部
 力
 <u>安部 カ</u> 安部 カ 日本生理学会 評議員 一般会員 Society for Neuroscience Neuroscience
American
Physiological Sciety
日本生体医工学会
Biophysical Society 安部 力 -般会員 一般会員 安部 一般会員 一般会員
 竹内
 綾子

 竹内
 綾子
 Society of General Physiologist
Biophysical Society
American Diabetes 竹田 有加里 竹田 有加里 一般会員 一般会員 Association

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名		氏名
シンポジウム等	2024 Cardiac Physiome Workshop	竹内	綾子
一般講演(ポスター)	生理研研究会「一炎 症・免疫系と心血管系 の相互作用から切り拓 く循環生理機能の解析 一」	竹内	綾子
一般講演(口演)	第130回日本解剖学 会·第102回日本生理 学会·第98回日本薬理 学会合同大会	竹内	綾子
シンポジウム等	2024 Cardiac Physiome Workshop	竹内	綾子
一般講演(ポスター)	生理研研究会「一炎 症・免疫系と心血管系 の相互作用から切り拓 く循環生理機能の解析 一」	竹内	綾子
一般講演(口演)	第130回日本解剖学 会·第102回日本生理 学会·第98回日本薬理 学会合同大会	竹内	綾子

(D) 学術雑誌等の編集

(D) 学術雑誌等の編				
学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員 の別	氏名	査読編数
Scientific Reports	査読		松岡 達	1
Proceedings of the	査読		松岡 達	2
National Academy of				
Sciences				
Scientific Reports	査読		松岡 達	1
Journal of	査読		松岡 達	1
Journal of	編集	委員	松岡 達	3
Physiological	7.00			
Sciences				
Korean Journal of	編集	委員	松岡 達	1
Physiology &	7.00			-
Pharmacology				
Pflugers Archiv -	編集	委員	松岡 達	1
European Journal of	1/10/10/10	~~	121-7 ~	
Physiolog				
Journal of Molecular	編集	委員	松岡 達	1
and Cellular	海 木	女 兵		'
Cardiology				
Frontiers in		+	竹内 綾子	1
Physiology	重就		刊内 被于	I I
Journal of	査読		竹内 綾子	1
Heart and Vessels	<u> </u>		竹内 綾子	
Journal of	査読		竹内 綾子	2
Physiological				
Sciences				
Scientific Reports	編集	委員	竹内 綾子	4
Journal of	編集	委員	竹内 綾子	1
Physiological				
Sciences				
Proceedings of the	査読		松岡 達	2
National Academy of				
Sciences				
Journal of	査読		松岡 達	1
Journal of	編集	委員	松岡 達	3
Physiological				
Sciences				
Korean Journal of	編集	委員	松岡 達	1
Physiology &	7.00			-
Pharmacology				
Pflugers Archiv -	編集	委員	松岡 達	1
European Journal of	1/10/71	~~	141-3	
Physiolog				
Journal of Molecular	編集	委員	松岡 達	1
and Cellular	小川 木	女 兵	1710 12	'
Cardiology				
Frontiers in		+	竹内 綾子	1
Physiology	且就		11179 小孩丁	'
Journal of		+	竹内 綾子	1
Heart and Vessels		+		
	<u> </u>	+	竹内 綾子	I I
Journal of	査読	1	竹内 綾子	2
Physiological		1		
Sciences	/= #s		LL - 4+ 7	
Scientific Reports	編集	委員	竹内 綾子	4
Journal of	編集	委員	竹内 綾子	1
Physiological		1]	
Sciences				

(E) その他

6. 産業・社会への貢献 (A) 国・地域等への貢献 (1) 書議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

(1) 實際本 安良	T DEAN ALT	**************************************		
区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間

(2) 社会人等への	『献及び学校等との連携	と 協力による活動	
区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名

活動名・活動内容 氏名 相手方機関名 役割 期間 活動国名	(B) 国際貢献 国際協力事業					
	活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名

- (C) その他業績
- (D) 特記事項